

# 配合飼料価格に影響を与える要因の価格動向

- トウモロコシの国際価格(シカゴ相場)は、2008年には、バイオエタノール向け需要の増加や主要産地の天候不順等もあり約300ドル/トンまで大幅に上昇。その後、世界的不況による需要減退、豊作予測等から下落し、150ドル前後/トンで推移。  
昨年夏以降、米国のトウモロコシ需給の逼迫見通し等から上昇し、本年6月には約300ドル/トンを超えたものの、直近では、200ドル半ば/トン(6ドル半ば/ブッシェル)で推移。大豆油かすについては、300ドル前半/トンで推移。
- 海上運賃(フレート)は、2008年には、堅調な船舶需要や原油価格高騰の影響等により約150ドル/トンまで大幅に上昇し、その後急落。直近では50ドル程度/トンで推移。一方、為替相場は、昨年4月以降、円高傾向で推移し、直近では80円/ドルを下回る水準で推移。
- 近年の価格動向の特徴として、①原油相場、株式市場等の経済指標が穀物相場の主材料となる傾向、②投機資金が穀物相場に流入し相場の変動に影響、③米国でトウモロコシのバイオエタノール需要が増加基調にあり、トウモロコシの需給構造に変化。

ドル/トン <トウモロコシのシカゴ相場の推移(期近物)>



注:シカゴ相場の日々の終値である。

ドル/トン <海上運賃の推移(ガルフ~日本)>



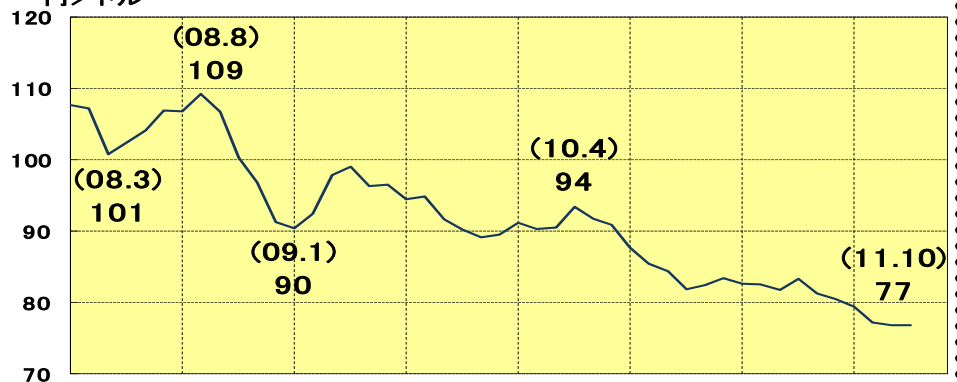
注:2011年10月の値は、第2週までの平均値である。

ドル/トン <大豆油かすのシカゴ相場の推移(期近物)>



注:シカゴ相場の日々の終値である。

円/ドル <為替相場の推移>



注:2011年10月の値は、10月24日までの平均値である。